



▲道外のイベントにも参加し、留萌の農産物や海産物をPR

NPO法人留萌観光協会は、市の観光施設である海のふるさと館とゴールデンビーチるもい、千望台などの指定管理者として、維持管理や環境整備などを行っています。

また、市内をはじめ道内外の物産市や地場産品販売イベント、飲食イベントなどに参加し、留萌の農産物や海産物、水産加工品などを広くPRしています。

留萌観光協会事務局長の佐藤雄一郎さんは、「留萌の観光施設には毎年、旭川や札幌など道内をはじめ、東京や神奈川、広島、沖縄など全国さまざまな地域から35万人以上の方が訪れ、

海水浴や景観、食事を楽しんでいます。また、各地のイベントに参加して留萌をPRしていますが、米や糠ニシン、カズノコなどには有名で、根強い人気がありますね」と笑顔で話してくれました。

留萌観光協会では、平成25年から留萌の夏の催しを掲載した観光PR用の広報宣伝うちわを作製し、市内外のイベントで来場者に配布しています。「まずは、多くの方に留萌を知っていただき、留萌のファンになってもらうことが一番です。観光で訪れる方の目的はさまざまですが、気持ちよく過ごしてもらいたいと

考えています。そのためには、お客さんの要望にに応えられるよう行動していくことはもちろんですし、自分自身のおもてなしの仕方などを振り返り、改善していくことが大切だと思っています」と熱っぽく語っていました。

「夏の留萌は、海水浴や美しい夕日、海産物など魅力的な観光資源がたくさんあります。これからも多くの方に留萌を楽しんでもらえるよう頑張ります」と意欲を燃やしています。

◇ 市内観光施設の開館時間などについては、下記までお問い合わせください。

市内外のイベントでPR おもてなしでファンの拡大を

NPO法人 留萌観光協会



NPO法人 留萌観光協会

佐藤 悠一朗 さん